

令和元年12月20日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

1 開会時間 9時30分

2 閉会時間 11時45分

3 教育長名 森 英夫

4 署名委員 野谷 悦

5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	森 英夫
○	教育委員 教育長職務代理者	岡野 敏彦
○	教育委員	山内 みどり
○	教育委員	渡辺 優子
○	教育委員	野谷 悦

6 出席者氏名

教育部長	黒石 徳子
教育総務課長	下條 博史
生涯学習課長	小島 孝紀
教育総務課教育総務班長	竹本 直昭
教育総務課教育総務班主査	込山 久美子
教育総務課指導班長	寺口 瑞紀
教育総務課指導班主幹	永井 貴幸
教育総務課指導班主幹	境野 朋美

7 傍聴者 6名

8 調整者 教育総務課教育総務班主査 込山 久美子

1 開会宣言

(教育長) 令和元年度 12 月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

野谷委員を指名する。

3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 12 月政策会議報告、二宮町議会定例会報告を資料に基づいて行う。

(各課長) 各課の事務報告・事業予定について資料に基づいて説明を行う。

4 付議事項

(2) 議案第 25 号 学校教育法施行細則の一部を改正する細則について

(3) 議案第 26 号 二宮町体育施設の設置、管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則について

(4) 議案第 27 号 二宮町武道館条例施行規則の一部を改正する規則について

(教育部長) 議案第 25 号、第 26 号、第 27 号の改正理由を一括して説明

(教育総務課長) 議案第 25 号について説明。

(生涯学習課長) 議案第 26 号、第 27 号について説明。

(教育長) 委員に議案第 25 号、第 26 号、第 27 号について諮る。

委員全員賛成により、議案第 25 号、第 26 号、第 27 号は承認される。

5 報告・協議事項

(1) 二宮町小中一貫教育校設置計画(案)に係る意見交換会について

(教育総務課長) 二宮町小中一貫教育校設置計画(案)に係る意見交換会について、資料のうち、説明の日程、比較表、配置図について説明。

(指導班主幹) 二宮町小中一貫教育校設置計画(案)に係る意見交換会について、資料のうち、具体的な活動(例)、時間割について説明。

○(教育長) 2月の意見交換会に臨むための準備ということで、様々な面でご意見をいただければと思います。いかがでしょうか。

○(岡野委員) 先の意見交換会でいただいた意見を元に作られたということで、資料作成本当にお疲れさまでした。この資料を踏まえて意見交換会に臨むということで、やはり比較表の判定を丁寧に調整していきたいと考えています。記号の横は、コメントではなく、理由、と表記してはいかがでしょうか。費用については、数字が独り歩きするので、具体的な額の記載は難しいですが、意見交換会でもご意見をいただいていますし、何らかの工

夫はしたいですね。

- （教育総務課長） 議会全員協議会や地区長の会合でもご指摘をいただきましたので、それぞれの記号の隣は、コメントでなく理由として、しっかりと記載させていただきます。費用については、これまでの決算資料や、公共施設白書等で示されている値を元に算出いたしました。額が大きいこともある事から、取り扱いの難しさを感じています。
- （岡野委員） 確認になりますが、この計画は、どの程度の期間を見据えて選択するイメージですか。
- （教育部長） 数十年後の未来も勿論考えていく必要がありますが、今回の計画では、令和12年頃とその少し先までを見据えた選択を予定しています。
- （渡辺委員） 学校の規模についてです。それぞれ年が書かれていますが、学区再編を前提とした年でしょうか。当初案の意見交換会で、学区の再編について様々なご意見をいただきましたが、それらの反映はいかがでしょうか。
- （教育総務課長） たしかに、様々なご意見をいただき検討いたしました。検討段階で、この比較が非常に複雑になってしまうので、見送らせていただきました。
- （渡辺委員） 学区再編について、多くのご意見をいただいたので、丁寧な説明が必要ですね。2月の意見交換会の進め方ですが、これらのプランから絞り込んでいくイメージでしょうか。
- （教育部長） そうですね。説明をさせていただいて様々なご意見をいただきたいと思いますが、一方で、教育委員会の提案もしっかりとさせていただきたいと考えています。
- （野谷委員） 比較表について、5つあります。まずは、1点目です。義務教育学校の記載がありますが、言葉が増えると、説明としてイメージが伝わりにくくならないでしょうか。2点目は、適正な通学距離の考え方です。図上の円と実際の地形や道のりで、評価が変わってくるように思います。3点目は、複数学級確保についてです。コメント欄に単級化の懸念を挙げていますが、この見通し年度よりも早期に生じる恐れはありませんか。4点目は、部活動顧問確保についてです。部活動ガイドラインにより一定程度に整理されましたが、それでも、小学校教職員にとっては、負担増と感ずることはないでしょうか。5点目は、学校の面積です。二宮小学校の校庭面積については実感として違和感があります。見直しが必要ではありませんか。
- （教育長） F案の、一色小学校の義務教育学校化については、新設中学校開設のハードルが高いこと、また、二宮町の学校教育の新たなあり方を考えていくきっかけとして、あえて書かせていただきました。また、部活動については、単純に小学校教職員に負担させるだけでなく、広域な部活動や、地域との連携を踏まえた形を考えています。他の評価項目については、ご意見も含めて検討したいと思います。
- （教育総務課長） 面積等については、国が取りまとめている施設整備台帳の値としています。遊具設置場所の面積も含まれていますが、他校も同様の考え方で整理しています。
- （渡辺委員） いま、お話のあったF案についてです。先の意見交換会で、当初案のA案で多くのご意見をいただきました。その事を踏まえて、特に通学距離について考えていく

と、F案は多くの保護者の方に安心感を抱いていただけたと思います。一方で、単級化の懸念への対応について考えると、まずは、学区再編を優先して行い、さらにその先の未来として、案を示していくことも考えられませんか。また、義務教育学校については、新しい教育ということで、町民、保護者が注目すると思います。この学校については、学区の枠組みにとらわれないという考え方、仕組みも考えていきませんか。

- （教育長） 少子化とそれに伴う単級化は、残念ながら進行すると思います。その中で、異学年交流の活発化で対応していきたいというのが、小中一貫校の取り組みの目的の一つでもあります。ただ、一方で、ハードウェア上の調査もしっかりする必要がありますから、それらも踏まえて取り組んでいきたいと考えています。
- （教育部長） ハードウェア調査も踏まえた、今後のスケジュール感についてです。今年度中のとりまとめを目指してきました。もちろん、2月の意見交換会を踏まえて、取りまとめを行いたいと思いますが、来年度も見据えながら取り組みを進めて参ります。
- （岡野委員） 様々なご意見や考えがある中で、評価と課題の構造が複雑化していますね。各案の中にも、課題とその対応策があります。もちろん、課題解決に大きな力をかけねばならないなら、その案のプライオリティーが下がるという事も言えますね。
- （教育総務課長） 課題解決については、非常に悩ましく思っています。解決手法や費用、判断を、誰がどのように行うか悩ましいです。地区長の皆様からも様々な意見をいただきましたが、やはり、教育委員会が目的を踏まえて案を示していただきたいというご意見がありました。
- （山内委員） 確かに、小中一貫教育を進めていく目的や目指す所を、町民、保護者世代にどうその魅力、特色を見せていくかが必要ですね。いずれの場合も様々な課題が生じるのは、ある意味あたり前だと思います。まずは、目指す所の共有、理解をしっかりとする必要があると思います。
- （教育長） そうですね。まずは子どもたちのためにということを第一にして、第2回目においてもしっかりとお示ししたいと思います。
- （渡辺委員） 目的、考え方を示していく中で、町として教育にどれだけ力をかけるか示していく必要があると思います。また、特色ある教育のあり様を示していく必要がありますね。前回の意見交換会では、小中一貫教育については一定の理解が得られた様子でしたが、一方で、再配置の議論ばかりがクローズアップされて、小中一貫教育についての意見交換が深くできなかったという声もありました。小中一貫教育には、多くのメリットがあると理解していますが、デメリットと申しますか懸念される部分、例えば、小学6年生の間近に中学生がいて、リーダーシップ、自己有用感が損なわれるのではないかとということ、受験を控えた中学生の近くで、小学校低学年の大きな声が聞こえてよいのだろうかということ。こうした懸念や疑問にも応えながら、メリット、良い所をしっかりと示してさらに理解を得ていく必要を感じています。
- （岡野委員） 小中一貫教育に取り組むメリット、目的についてですが、戦後の学校教育制度で、いわゆる六三制をした時点での状況と、今日の教育環境や子どもたちの育ちが変

化していく中で、小中一貫教育が取り上げられてきた経緯があります。配置や通学距離といった場所の議論とともに、教育のあり方、目的についてもしっかりと取り上げていく必要がありますね。

- （教育長） 小中一貫教育については、教員によるワーキンググループがしっかりと取り組まれていて、各教科において、活発な議論が行われています。3小学校2中学校という二宮町の環境だからこそ、一体感のある取り組みが出来ていると思います。もちろん、デメリットや課題もあると思いますが、それをどう克服し、いかに乗り越えていくのか、しっかりと取り組みたいと考えています。もちろん、教育委員会として、どう進めていくのが大切です。道筋をつけていければと思います。
- （教育総務課長） 資料についてももう少し整理したいのですが、今のまま、またはこれに付け加えていくと、説明ばかりの意見交換会になってしまうのではないかと危惧しています。
- （山内委員） 難しい所ですが、目標を見失わないように、資料にしっかりと掲げることが必要ですね。費用面については、数字が独り歩きする恐れもあるので、簡易的な表記がよいと思います。
- （岡野委員） 用語や数値について、独り歩きしないように、出典表記も必要ですね。
- （教育長） 来月の教育委員会議でも引き続き取り上げたいと思います。また、教育委員の皆さんと勉強会も行いたいと思いますのでよろしく願いいたします。

（2）その他

－ 次回教育委員会予定 －

（教育総務班長） 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

－ 傍聴者退席 －

4 付議事項

（1）議案第24号 令和元年度二宮町教育委員会表彰被表彰者の選考について

－ 非公開 －

11時45分 閉会